

「昨年と比べ、国内旅行人数が減少、消費額単価は増加。旅行行動における東日本大震災等の影響は概ね解消。」 ～ピーク調査（年末年始期間における観光旅行の動向）～

観光庁が発表した、「ピーク調査（年末年始期間における観光旅行の動向）」によりますと、今回の年末年始の国内旅行は、昨年と比較して旅行人数は減少しましたが、旅行消費額単価は増加しました。また、年末年始に国内旅行を実施しなかった理由としては、「そもそも年末年始に旅行に行かない」という回答や金銭的な面、混雑面をあげる回答が多い一方で、東日本大震災に関連した理由は少数となっており、東日本大震災等の影響は概ね解消したと考えられます。

1. 国内宿泊旅行の動向

国内宿泊旅行の旅行人数は、昨年比2.1%減の2,648万人、主な旅行1回あたりの消費額単価は同11.6%増の40,731円、平均旅行回数は昨年と同数、旅行消費額は同9.3%増の12,036億円となりました。また、旅行1回あたりの平均泊数は昨年比4.1%減の2.87泊となっています。

国内宿泊旅行の動向

| | 2011年 | 2010年 | 増減率 | 増減値 |
|-------------------------|--------|--------|-------|-------|
| 旅行人数（万人） | 2,648 | 2,704 | -2.1% | -56 |
| 消費額単価（円） （主な旅行1回あたり） | 40,731 | 36,484 | 11.6% | 4,247 |
| 平均旅行回数（回） | 1.12 | 1.12 | 0.0% | 0 |
| 旅行消費額（億円） | 12,036 | 11,009 | 9.3 | 1,026 |
| 平均泊数（泊） （1回の旅行あたり） | 2.87 | 2.99 | -4.1% | -0.12 |

※四捨五入の関係で、数値が合わない場合がある（以下同じ）。
※2011年：12/21～1/10、2010年：12/22～1/11（以下同じ）。

2. 国内日帰り旅行の動向

国内日帰り旅行の旅行人数は、昨年比9.1%減の1,948万人、主な旅行1回あたりの消費額単価は同8.5%増の13,300円、平均旅行回数は同4.5%減の1.48回、旅行消費額は同5.7%減の3,825億円となりました。

国内日帰り旅行の動向

| | 2011年 | 2010年 | 増減率 | 増減値 |
|-------------------------|--------|--------|-------|-------|
| 旅行人数（万人） | 1,948 | 2,143 | -9.1% | -195 |
| 消費額単価（円） （主な旅行1回あたり） | 13,300 | 12,252 | 8.5% | 1,047 |
| 平均旅行回数（回） | 1.48 | 1.55 | -4.5% | -0.07 |
| 旅行消費額（億円） | 3,825 | 4,058 | -5.7% | -233 |

3. 旅行1回あたりの単価（費目別構成額）

国内宿泊旅行の消費額単価の内訳を見ると、2010年と比べ交通費（鉄道関連費）を除く各費目で増加しています。特に、交通費（自動車関連費）（26.0%・1,352円増）、宿泊費（26.9%・2,121円増）の増加が顕著です。

旅行1回あたりの単価（国内宿泊旅行）

| | 2011年 | 2010年 | 増減率 | 増減額 |
|-------------|--------|--------|-------|-------|
| 交通費（航空関連費） | 2,509 | 2,123 | 18.2 | 386 |
| 交通費（鉄道関連費） | 4,601 | 5,051 | -8.9 | -450 |
| 交通費（自動車関連費） | 6,551 | 5,199 | 26.0 | 1,352 |
| 宿泊費 | 10,007 | 7,886 | 26.9 | 2,121 |
| 飲食費 | 7,169 | 6,920 | 3.6 | 249 |
| 観光施設入場料 | 1,259 | 1,056 | 19.2 | 203 |
| お土産代 | 4,681 | 4,014 | 16.6 | 667 |
| パッケージ代 | 2,063 | 1,642 | 25.6 | 421 |
| その他 | 1,892 | 2,593 | -27.0 | -701 |
| 合計 | 40,731 | 36,484 | 11.6 | 4,247 |

（単位：円、%）

国内日帰り旅行では、交通費（鉄道関連費）、お土産代を除く各費目で増加しています。特に、交通費（自動車関連費）（27.5%・746円増）の増加が顕著です。

旅行1回あたりの単価（国内日帰り旅行）

| | 2011年 | 2010年 | 増減率 | 増減額 |
|-------------|--------|--------|------|-------|
| 交通費（航空関連費） | 233 | 202 | 15.3 | 31 |
| 交通費（鉄道関連費） | 824 | 907 | -9.2 | -83 |
| 交通費（自動車関連費） | 3,462 | 2,716 | 27.5 | 746 |
| 飲食費 | 3,776 | 3,395 | 11.2 | 381 |
| 観光施設入場料 | 1,188 | 1,025 | 15.9 | 163 |
| お土産代 | 2,000 | 2,085 | -4.1 | -85 |
| パッケージ代 | 205 | 182 | 12.6 | 23 |
| その他 | 1,611 | 1,741 | -7.5 | -130 |
| 合計 | 13,300 | 12,252 | 8.6 | 1,047 |

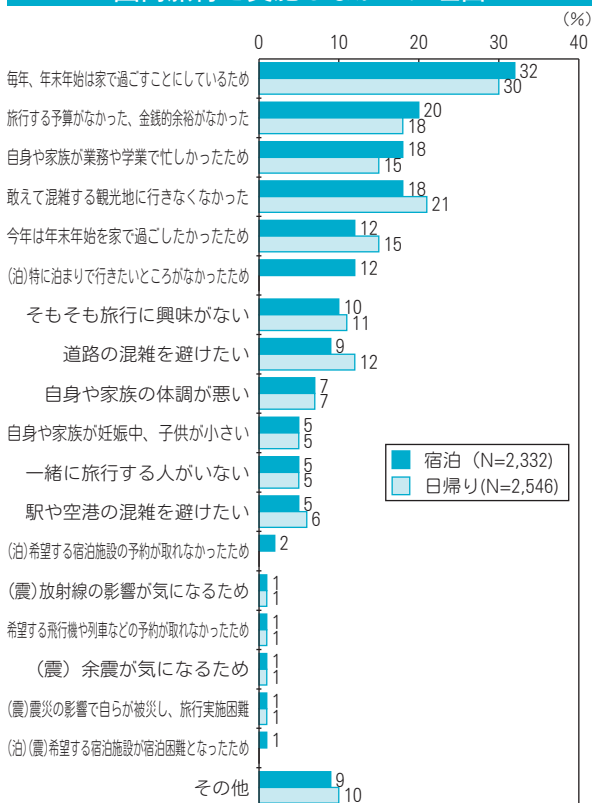
（単位：円、%）

4. 年末年始に旅行を実施しなかった理由

年末年始に国内旅行を実施しなかった理由は、宿泊、日帰りとも「毎年、年末年始は家で過ごすことにしている」が最も多く、宿泊で32%、日帰りで30%を占めています。

以下、「他のことにお金を使い旅行する予算がなかった、金銭的余裕がなかった」、「自身や家族が業務や学業で忙しかった」、「敢えて混雑する観光地には行きたくなかった」が宿泊、日帰りとも上位を占め、東日本大震災等（以下、「震災等」という）の影響を理由に国内旅行を実施しなかった人の割合は低水準に留まっています。なお、宿泊、日帰りの比較では大きな差異はみられず、概ね同様の状況となっています。

国内旅行を実施しなかった理由



※選択肢頭部に(泊)のついた項目は、宿泊旅行のみの理由。(震)のついた項目は震災等に関連した理由。

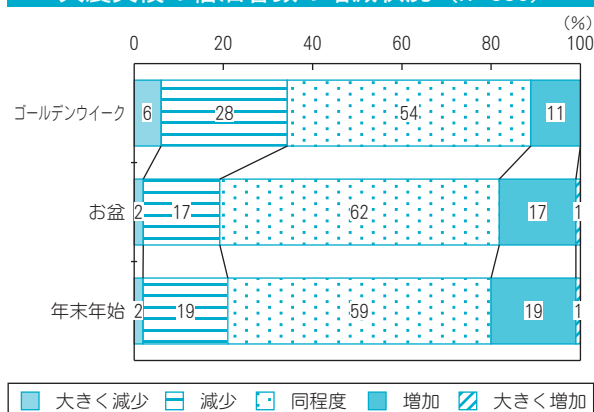
5. 大震災後の宿泊客数、入込客数の回復状況

宿泊客数の比較では、「大きく減少」(2%)と「減少」(19%)の合計は21%でゴールデンウィークの34%に比べ低くなっている一方で、「大きく増加」(1%)と「増加」(19%)の合計は20%で、

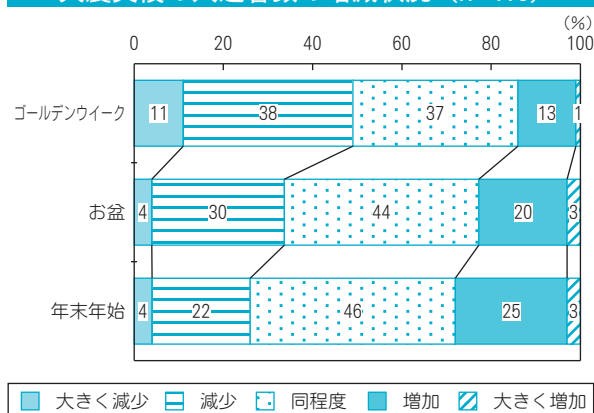
ゴールデンウィークの11%、お盆の18%に比して増えています。

入込客数の比較では、「大きく減少」(4%)と「減少」(22%)の合計は26%でお盆の34%、ゴールデンウィークの49%に比べ低くなっている一方で、「大きく増加」(3%)と「増加」(25%)の合計は28%で、ゴールデンウィークの14%、お盆の23%に比して増えています。

大震災後の宿泊客数の増減状況 (n=356)



大震災後の入込客数の増減状況 (n=410)



年末年始の期間における国内旅行は、1年前の同時期と比べ、旅行人数は減少したものの、旅行消費額は増加しています。震災等の影響を理由に国内旅行を実施しなかった人の割合も低水準に留まりました。

また、宿泊客数や観光地点の入込客数もゴールデンウィーク⇒お盆⇒年末年始へと時間の経過とともに回復基調にあり、旅行行動における震災等の影響は概ね解消されていると考えられます。